

高校生まで医療費無料化 促進を求める

10月から、まず入院費で実施

公明党 ^{みうら よしかず} 三浦 芳一 議員

議員 公明党として長年にわたり高校生までの医療費無料化を求めてきた。今回は入院のみの実施だが、通院費までの考えは。
市長 本年10月から入院費のみで実施する。通院までの拡大については、入院扶助の実績、その効果等を分析した上でしっかりと研究していく。

「防災・減災条例」の早期制定を
議員 政府の地震調査委員会が太平洋の日本海溝沿いで起

※輻射パネル：冷水や温水を直接パネル内に通し、その輻射（冷輻射、温輻射）により室内を冷やしたり、暖めたりするパネルのこと。



る者、公募市民を委員として考えている。
小中学校体育館にエアコン設置を
議員 昨夏は災害とまでいわれた猛暑日が続く、災害時には避難所となる。エアコンの設置を。
市長 輻射パネルを組み合わせたハイブリッドエアコンの設置を検討している。運用については、保護者会や入学・卒業式、体育授業などの学校行事、災害時等を予定。

市政発展には市内経済発展が必要不可欠では

生き生き働ける環境づくりを進める

みらいの会 ^{くまき てるあき} 熊木 照明 議員

議員 景気拡大期間が戦後最長と言われる中、依然として厳しい状況を肌で感じるが、市政を発展させるには市内経済の発展が必要不可欠であり、市内事業所に対する取り組みを積極的に行う必要があると考える。人材確保の環境づくりや働きやすい環境づくりは重要であり、ニーズの把握や支援体制を構築し、どのように市内経済と雇用の好循環を促していくのかを伺う。

町会と行政の役割分担の見直しを
議員 町会・自治会への加入率低下や役員の高齢化があり、活動の継続のためには町会と行政の役割分担の見直しが必要。

要と考えるが。
市長 昨年のアンケート調査結果を基に、町会連合会の意見を聞きながら見直す。また、本市に合った「地域担当職員制度」導入を考える。
A-1総合案内サービスの効果は
議員 A-1対話形式により期待をされる具体的な効果は。
市長 市民が24時間、問い合わせや情報を得ることができ



▶少数で市からの広報を仕分け(沖内町会)

高齢化、少子化に合わせた配分を

効率的・効果的な執行に努める

戸田の会 ^{さかい いくろう} 酒井 郁郎 議員

議員 一般会計予算が前年度比10・2%増と急拡大し、既に決定され、事業として進んでいる案件もある。市民からは公共工事が多過ぎるとの意見もある。予算の規模や用途は、今後とも高齢化や少子化など社会環境の変化に合わせて配分を行っていくべきだがお考えを。
市長 公共施設の長寿命化や計画的な建て替えをプランに基づき進める。国・県補助金の確保、既存事業の継続的な

見直し、予算の効率的・効果的な執行にも努める。
浸水対策の大きな進展を期待
▲毎年繰り返される市内の浸水(戸田駅西口)

福祉総合窓口の充実を
議員 支援を必要とする方に
市長 既存の雨水排水計画を抜本的に見直し、これまでにない取り組みを行う。特に、笹目の根木橋公園付近、北大通りの消防本部周辺、健康福祉の杜周辺等、平成41年の完成を目指す。

とって、窓口が一本化されれば大いに助かる。各課の連携を強化し、支援の充実につなげていただきたい。
市長 生活困窮、障がい者、高齢者など福祉に関して、どこに相談したら良いか分からないといった方や、相談内容が各課にまたがる複合課題の相談に対応する。市民がどのようなことに困っているのかアンケートを取り内容を検討する。

総括質問

そうかつしつもん

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。今定例会では、3月1日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。
ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



▲戸田桜づつみ